

宗像市市民参画等推進審議会次第書

日時	令和4年5月9日（月）13：30～
場所	宗像市役所 202会議室
委員	<input type="checkbox"/> 新井佳代子 <input checked="" type="checkbox"/> 鎌田隆徳 <input checked="" type="checkbox"/> 木村健次 <input checked="" type="checkbox"/> 佐藤靖成 <input checked="" type="checkbox"/> 鈴木邦治 <input checked="" type="checkbox"/> 種田明美 <input checked="" type="checkbox"/> 東博子 <input checked="" type="checkbox"/> 福岡佐知子 <input checked="" type="checkbox"/> 山森直哉 <input checked="" type="checkbox"/> 吉村義廣 <p style="text-align: right;">（五十音順、敬称略）</p>
事務局	コミュニティ協働推進課（花田課長、杉山係長、成瀬、西山、佐藤） 元気な島づくり課（上村係長、宮本）

1. はじめに

部長あいさつ

人まち補助金が13件、島づくり補助金が4件の申請があつている。市民参画、協働及びコミュニティ活動をより推進するため屈託のない意見をお願いする。

2. 委員の委嘱について

八木市民協働環境部長から委嘱状交付。

3. 令和4年度の審議会の全体スケジュールについて

事務局から令和4年度の審議会の全体スケジュールを配布資料に基づき説明。

4. 協議事項

（1）令和4年度宗像市人づくりでまちづくり事業補助金及び元気な島づくり事業補助金の審査方法等

本補助金の審査方法等について事務局から資料に基づき説明。

(2) 補助金申請内容の確認等

令和4年度宗像市人づくりでまちづくり事業補助金及び元気な島づくり事業補助金の一次審査結果を配布資料に基づき説明。

○人づくりでまちづくり事業補助金

①「はたらくおとな研究室」実行委員会「事業名：はたらくおとな研究室」

市関連部署；子ども育成課、都市再生課

事務局から申請内容について説明。

(意見) 事業の実績は1年以上あるが、団体としては1年目のため、行政テーマ型事業ではなくチャレンジ支援型事業の方が適しているのではないかと。

(意見) 事業承継をどのように考えるかまとめる必要があるのではないかと。居場所づくり事業がこれまで継続され、どこまで継承されているのか。

(事務局) 団体はこれまで実施してきた子どもの居場所づくり事業を新規団体で実施していきたいと考えており、これまでの活動実績から行政テーマで提出している。

(意見) 事業の活動場所は別団体が企業から受託しているため、活動の線引きを考えないといけないのではないかと。

(意見) 継承する事業の実績やノウハウを明確にしてもらい、引き継いだものと新しいものがわかるようにしてほしい。申請しているカーペットの利用が別団体に利用される可能性もあるので、線引きして申請してもらった方がいいのではないかと。

(事務局) 詳細の内容を審査会で聞き取りしたうえで結論を出すことも可能である。

(意見) 事前に団体に資料提出をお願いしたい。回答内容が事前にわかることで、審議がしやすくなる。

(事務局) 事前に内容を整理し、委員の皆さんに資料を配布する。

(意見) 団体が実施する総合学習は、学校で事業を実施しているかと思うが、その講師の謝金を団体が支払う必要があるのか。

(意見) 事業を整理した際に、バックヤードツアーのみとなってしまう、一過性のイベントに該当してしまうのではないかと。独自に実施する子どもの居場所づくり事業とバックヤードツアー等とのつながりが見えるといいのではないかと。

②特定非営利活動法人メイクハッピー&ピース「事業名：フリースペース×みんな食堂」

市関連部署；子ども育成課

事務局から申請内容について説明。

特に意見なし

③宗像歴史観光ボランティア「事業名：宗像の世界遺産・宗像の観光を楽しく広める」

市関連部署；世界遺産課

事務局から申請内容について説明。

(意見) 大島の渡船代や駐車場代が含まれていないが大丈夫か。

(事務局) 事務局で確認する。

(意見) この事業について世界遺産課で事業化する予定はあるのか。

(事務局) 団体が自走できるように支援していくが、市の事業として実施することまでは考えていない。

(意見) 周遊の場所等の詳細が分からないので、申請書に記載してほしい。事業の効果について、学校訪問のみでこの効果が出るのか疑問がある。期待される効果につながる取組のプランがあればと思う。

(意見) 訪問する学校はどのように選んでいるのか。

(意見) 要請された学校に訪問している。今後は積極的に要請のない学校にも関わっていきたいと聞いている。

④パトラン宗像「事業名：防犯活動中の救急救命と認知症の講習の開催」

市関連部署；危機管理課、高齢者支援課

事務局から申請内容について説明。

(意見) 宗像市で認知症者の徘徊は頻発に起きているのか。

(事務局) 令和3年度は延べ9回発生している。最近は増加傾向である。

(意見) これから熱中症などが発生する時期となるので、緊急救命対応については、早い時期に開催してもらいたい。

⑤ママボラむなかた「事業名：子育て情報誌づくり事業」

市関連部署；子ども育成課、子ども家庭課

事務局から申請内容について説明。

(意見) 情報誌の発行部数については、必要としている方の手元に届くことを意識し、1年目は少部数で発行し、2年目に増刷していく方がいいのではないか。

(意見) 講師はどのような人がくるのか。

(事務局) 市内の子育てサークル経験者をお願いする予定と聞いている。

(意見) 男女共同参画の観点から女性向けにこだわらなくてもよいのではないか。

(意見) 情報誌の配布は、なかなか手元に行き届かないことがある。配布方法などに何か工夫や計画があるのか。

(意見) 市の担当課は団体と意見交換等したことあるのか。

(事務局) 団体が活動しているのは知っており、市のイベント等に参加してもらっている。

団体から情報誌の配布の依頼などはこれまでない。

⑥ココライイベント企画室「事業名：音を自分で作ろう！ - ミュージック Fun! Fun!
-」

市関連部署；子ども育成課

事務局から申請内容について説明。

特に意見なし。

⑦ハンドメイド夢na形「事業名：夢na形（むなかた）「手づくり」コミュニケーション」

市関連部署；子ども育成課

事務局から申請内容について説明。

(意見) 数年前からワークショップを土日に実施し、出展する個人の方に教えていると聞いている。令和4年4月の実績はどのくらいなのか。また会場費が予算に計上しているが、これまでの場所から変更するのか。これまでと同様の場所で活動を実施するなら本補助金の対象となるものか疑問がある。

(事務局) 4月の実績は把握していない。2か月に1回子ども向けのイベントを実施したいと聞いている。

⑧しえるの会「事業名：障害児の家族のための居場所づくり事業」

市関連部署；福祉課、子ども支援課

事務局から申請内容について説明。

(意見) 講師の謝金は、これまでどおり規定に従うべきではないか。

(意見) 連続講座の実施は問題ないが、講師謝金については市の他事業と同様に本事業もこの規定に従うべきだと思う。

⑨「てくてくさくらねこ」の会「事業名：てくてくさくらねこ活動」

市関連部署；環境課、維持管理課

事務局から申請内容について説明。

(意見) てくてく遊歩道はどれくらいの距離があるのか。

(事務局) 石丸河東線からくりえいと3丁目の山田川沿いの範囲である。管理については、舗装面、構造物は宗像市の維持管理課が実施し、草刈り等についてはNPO法人グランワーク宗像が実施している。

(意見) 花壇の管理もグランワーク宗像が実施しているのか。

(事務局) 植栽帯などはあるが、花壇という形での管理形態はない。

(意見) グランワーク宗像が管理している場所に、団体が新しく花壇を作製することになるのか。

(事務局) 管理を実施しているグランワーク宗像との協議になるが、花壇を設置する場合は、そのようになると思っている。

(意見) 県や市の助成はあるのか。

(事務局) 県も市も助成制度はある。宗像市では、地域猫活動支援事業として地域猫の不妊去勢手術のための費用を出す制度があり、大島などで活用されている。地域猫活動に関する不妊手術の費用は雌猫が26,000円、雄猫は16,000円が発生し、県と市が助成している。

(意見) 花壇の整備費用については検討する必要がある。保護猫の活動に花壇の活動が必要なかどうか。

(意見) 宗像市内で猫に関する相談はあるのか。

(事務局) 猫に関する相談については、敷地内の猫の糞尿被害等の週に数回程度は問い合わせがある。

(意見) 市内で地域猫の活動をしている団体は他にいるのか。

(事務局) 自由ヶ丘、大島、池田などで活動している団体がいる。

⑩赤ちゃんの育つ環境を守る会・ゆるりんこ「事業名：子育て支援」

市関連部署；子ども育成課

事務局から申請内容について説明。

特に意見なし。

⑪母と子のサロン つむぎ「事業名：母と子のサロン つむぎ」

市関連部署；子ども育成課、子ども家庭課

事務局から申請内容について説明。

(意見) 市内で活動している子育て支援の他団体と交流はあるのか。

(事務局) 新型コロナウイルスの感染拡大を懸念し、前年度は他団体との交流はしていないと聞いている。

⑫CLICK「事業名：地域でのプログラミング教室開催とPCの活用」

市関連部署；教育政策課、子ども育成課

事務局から申請内容について説明。

特に意見なし。

⑬宗像ビブリオバトル倶楽部「事業名：ビブリオバトルを通じた読書活動推進事業」

市関連部署；図書課

事務局から申請内容について説明。

(意見) 事業採択から3年目の今年度も視察研修する必要があるのか。

(意見) 図書カードについては、金券に該当すると昨年指摘があったが予算に計上されているのか。

(事務局) 予算額として計上しているが、昨年度の指摘を踏まえ、補助対象経費からは除外されている。

(意見) 昨年度に県主催で子ども読書活動研修会を実施している。本を読まない子どもたちを対象とした研修会で、ビブリオバトルさんに出席してもらった。事業内容を説明され、人とのつながりや子どもたちに良い本と出合ってほしいなどよい活動していると感じた。

○元気な島づくり事業補助金

あ 地島再発見し隊「事業名：地島の魅力再発見事業」

市関連部署；元気な島づくり課、コミュニティ協働推進課

事務局から申請内容について説明。

(意見) 報償費や需用費の額が積算の数値と記載内容と異なっているが誤っているのか。

- (事務局) 計算が誤っている。当日、修正したものを再度団体から提出していただく。
- (意見) 申請の内容から地島に来ている子どもたちが体験をすることに注力しているが、情報発信にあまり力が入っていないと感じる。情報発信について目標値を達成するための計画や取組はあるのか。
- (事務局) ホームページやYouTubeを活用して情報発信すると聞いている。
- (意見) 外部講師を招いて情報発信の内容の確認等をしてもらうのか。
- (事務局) 自前で実施すると聞いている。
- (意見) これまでの体験活動に関しては、これまで以上に発展するように新しさが出てきてほしいと感じる。大学生にYouTube制作を委託し、子どもたちがコンテストの審査などしても良いのではないか。
- (意見) 地島小の小学生の人数は何人か。
- (事務局) 全員で8名であり、留学生が5名となっている。
- (意見) 大島に注目がいってしまい、地島の良さがまだ伝わっていないと感じる。この補助金を活用して、小学生が地島の良さを伝えられるようにできればよいのではと思う。

い 九州産業大学地域共創学部行平ゼミナール「事業名：大島・地島！魅力発信プロジェクト」

市関連部署；元気な島づくり課、産業政策室

事務局から申請内容について説明。

- (意見) 大分県に視察研修の計画があるが、県外の視察については、目的などの計画を提出していただきたい。
- (事務局) 視察先は島の観光資源を利用し、交流人口が増加している先進地と聞いている。審査会までに団体から計画書を提出していただくよう依頼する。
- (意見) 本補助金に申請している地島の事業とコラボしないのか。
- (事務局) 申請段階では、地島の事業とコラボ実施することは計画にない。ただ、団体は地島の小学生などと活動したい気持ちはあるので、事務局から打診してみたいと考えている。
- (意見) 大学生の力を借りることで、つながりを作ることができ、これまでできなかった新しいことにつながるのではないか。団体同士をつなぐことをこの審議会がコーディネートできるのではないか。
- (事務局) 団体の中には地島出身の学生をいると聞いている。島の人と密接に関わるのではないかと感じている。

う 大島学園PTA「おおしまワクワクプロジェクト」

市関連部署；元気な島づくり課、コミュニティ協働推進課

事務局から申請内容について説明。

(意見) 運動会のダンスの指導する講師費用の多くがとられているが、計画の中にある他の活動と関係するのか。

(事務局) ダンスについては専門の講師から指導をうけると聞いているが、詳細は団体に尋ねていただきたい。

え 九州共立大学スポーツ学部「事業名：九州共立大学スポーツ学部（大島プロジェクト）～筑前大島におけるスポーツを通じた健康づくり及びコミュニティづくり～」

市関連部署；元気な島づくり課、コミュニティ協働推進課

事務局から申請内容について説明。

(意見) 現状の補助金は、補助率が4年目以降減少していくようになっており、今年度最終年である。九州共立大学との今後つながりが大切だと思う。

(意見) 本申請は1日のみで3つのイベントを実施するものなのか。

(事務局) 準備や勉強会は事前に実施するが、イベント自体は1日で実施すると聞いている。

(意見) もし1日のみで実施する場合、一過性のイベントに該当しないのか。

(意見) これまで本大学では年齢層に合わせて指導してきている。5年間の集大成としてアンケートをとることも検討してもらえれば一過性のイベントではなくなるのではないかと。また事前の指導を継続してほしいと審査会で要望や意見を条件に付けることもあるのではないかと。

6. その他

(意見) 現行の元気な島づくり補助金では、4年目以降の事業は補助率が低下してしまい、5年で補助金は打ち切られてしまう。宗像市にとっても、大島や地島の活性化は大切であるので、4年目以降の補助率を低下させないでほしい。また5年目に打ち切るのではなく、大島や地島の活性化に必要なならば、団体の支援を継続し、団体が希望すれば6年目以降も支援してほしい。

(事務局) この補助金の制度の考えとして、補助金を活用して事業を開始し、いずれ自走して事業を実施してほしいという思いがある。ただ、離島の状況などを考慮すれば、本補助金の制度の見直しについて検討していきたい。

- (意見) 補助金の額が年数に応じて減額されてしまうと、運営は厳しいものになってしまう。大学では、毎年学生スタッフが入れ替わる事情もあるため、継続して活動ができるように見直してほしい。また健康づくりの活動の側面から見れば、島民からのニーズがあれば持続可能な活動にした方がいいと思うし、持続するために大学の負担を軽減してあげた方が持続して活動していけるのではないかと思う。
- (意見) 大切なのは継続だと思う。島の人たちへの啓発活動をしていく必要があるのではと思う。島の関係者も関わる方は決まった人になってしまうため、島全体で啓発活動をしてから事業に参加すると事業のやりやすさは変わる。島全体に活動などを周知してあげることで受け入れる側として活動しやすく、島の人たちも含めて継続していけるような環境づくりをしていかなければならないのではないかと思う。
- (事務局) 補助金交付団体から要望があれば、市職員も団体と一緒に説明に伺う。最初は壁を持って接してしまうこともあるかと思うので、市職員と一緒に伺うことで活動がしやすくなるようであればと思う。
- (意見) 地島と大島の空き家はどれくらいあるのか。
- (事務局) 地島では、約10件、大島では、70件ほどある。
- (意見) 市が大島、地島の空き家をリフォームし、貸し出すことなどできないのか。
- (事務局) すぐに人が住めるような空き家は大島で20件ほどしかなく、また管理している方は、帰省しているときに使用するため、家財の整理ができないため売れないと聞いている。空き家をお持ちの方にはアンケートを実施し、アンケート結果から空き家解消に向けた施策を実施しているが、なかなか進んでいないのが現状である。

=散会=